

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年6月28日

事業者名: Re. woods

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	事業活動において事務処理等のIT化を進める事によりエネルギーの無駄の削減、資源の無駄の削減に取り組んでおります。ITによるペーパーレス化によって資源・エネルギーの無駄を省き、環境問題に対して取り組んでおります。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	2024年3月以降、ペーパーレス化により紙資源の使用を削減。2024年4月においては、印刷数を0にする事を達成。	指標	事業におけるペーパーレス化の継続
				目標	2030年までに、事業活動におけるペーパーレス化を継続して行っていく(年間印刷数3600枚)。
社会	Re. woodsでは「11.住み続けられるまちづくりを」のSDGs活動として、住宅のリフォームをお考えのお客様に、住宅の耐震性を上げる工事による安全性の向上や、バリアフリー工事による快適性の向上をご提案することで、住み慣れた街に、住み慣れ思い出深いお家に住み続けるお手伝いを行っております。また住宅リフォームをお考えの方に対して、地震対策リフォームセミナーを実施し、情報の発信をしております。	③すべての人に健康と福祉を	2023年4月、5月、6月にそれぞれ1回ずつ、地震対策リフォームセミナーを実施。	指標	地震対策リフォームセミナーの実施回数。
				目標	2030年までに、住宅リフォームをお考えのすべての方に、地震対策リフォームセミナーを年6回実施。
経済	顧問社労士と相談し、今後増える従業員の為の働きやすい環境にするための社内規定についての取りまとめを実施。ワークライフバランスを大切に、仕事もプライベートもどちらも充実できる環境とする事で「8.働きがいも経済成長も」のSDGs活動として実施。	⑧働きがいも経済成長も	2024年4月から、社内規則を変更・記述化し、特別休暇制度の設定。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価(1が最低5が最高)をしてもらい、平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				